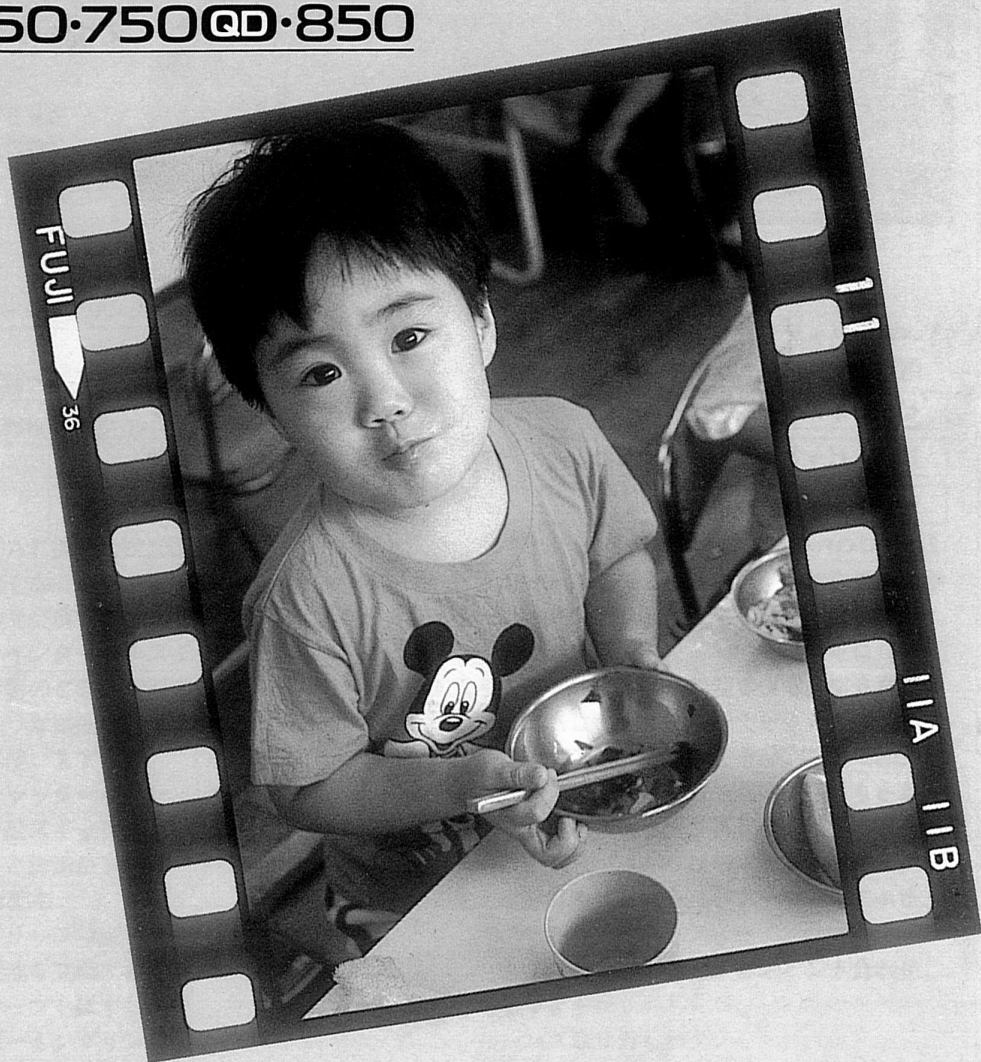


Canon EOS

750·750QD·850



キヤノン製品をお買い上げいただきありがとうございます。

キヤノンEOS 750/750QD/850は、きれいに素速く撮れると評判の高いEOS 650/620の姉妹機です。評価測光とオートフォーカスなどの機能はそのまま引き継ぎ、さらに手軽に使えるように設計されたAF一眼レフカメラです。

このカメラには、2つの撮影方法があります。カメラまかせで気軽に撮れる実用的なプログラムAEと、ご自身の思いをそのままに撮る合理的なデプスAEです。

高い機能性にもかかわらず、操作は極めてシンプル。あなたはただ動きや表情、構図などに専念し、あとはシャッターボタンを押すだけです。

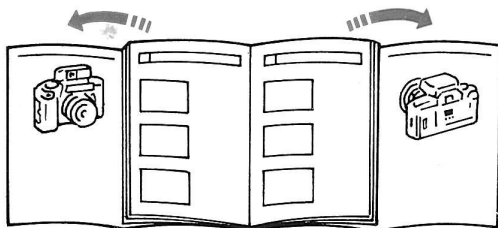
暗いところや逆光も気にする必要はありません。内蔵ストロボが自動的に発光しきれいな写真にします。

このカメラを思いのままにお使いいただき、写真の世界を広げてください。

●使用説明書の見方

使用説明書では、EOS 750QDに35-70mmのレンズを付け、内蔵ストロボが自動発光する状態を中心に説明しています。

ご使用にあたってはまずカメラを手に取り、よく使用説明書をお読みいただき、十分にご理解くださるようお願いいたします。



表紙と裏表紙の各部名称を図のように開いてご覧ください。

各部名称



※ ① AF補助光投光部

暗くなると、自動的にピント合わせのための光が出ます

② メインダイヤルスイッチ

撮影のときの電源のON/OFFや、どのような機能を使って撮影するかを選ぶときに使います

③ シャッターボタン

2段スイッチになっていて、半押しでピントと露出がきまり、さらに押しで写真が撮れます

④ グリップ着脱ねじ

電池を交換するとき、このねじを回してグリップをはずします

⑤ ズーミングリング

写す構図を決めるときに使います

⑥ 手動フォーカスリング

フォーカスモードスイッチをMにして、手でピント合わせをするときに使います

⑦ 三脚ねじ穴

三脚に付けるときに使います

※ ⑧ ストロボ

暗いところや逆光のときは、ストロボが自動的に上がり発光します

⑨ ストラップ通し

ストラップ（吊りひも）をここに取り付けます

⑩ フォーカスモードスイッチ

AFにセットすると、自動ピント合わせとなります

⑪ レンズ取り外しボタン

※印：EOS 750/750QDだけの機構

メインダイヤルスイッチ



① (バッテリーチェック)

電池の残量をチェックするときに使います

ピピピピと速く鳴ったとき



残量が充分にあります

ピッ、ピッとゆっくり鳴ったとき



残量があまりありません

音が鳴らないとき



残量がありません

② PROGRAM (プログラム)

カメラまかせで写真を撮るときに使います

適正な露出になるように、シャッタースピードと絞りをカメラが自動的に設定します

③ (ロック)

写真を撮らないときはここに合わせておきます

無意識にシャッターボタンを押したための無駄写しや電池の消耗を防ぎます


④ DEP (デプス)

はっきり写る範囲を自分でコントロールするときに使います

背景まではっきり写したり、逆に背景をぼかしたりできます

⑤ (セルフタイマー)

セルフタイマーで写真を撮るときに使います

各部名称	3
EOSでこんな写真が	6
カメラの準備をしましょう	
1. レンズを取り付けましょう	18
2. 電池を入れましょう	20
●電池をチェックするには… 	21
3. カメラに慣れましょう	22
4. カメラを正しく構えましょう	23
5. シャッターボタンの押し方に 慣れましょう	24
6. フィルムを入れましょう	26
チャンスを生かして撮りましょう	
1. 撮る前に確認しましょう	28
2. 写真を撮りましょう	29
3. これがEOSの世界です	31
…高速高性能AF, 評価測光, インテリジェントプログラム	
●オートフォーカスの上手な使い方 …	32
…フォーカス(AF)ロック撮影	
●人を端に寄せた写真は	32
●二人を入れた写真は	33
●動きのあるものを撮るには	33
●オートフォーカスが 苦手なものを撮るには	34
●暗いところではストロボが自動発光 ..	35
…内蔵ストロボ自動発光	
●逆光でもストロボが自動発光	36
…内蔵ストロボ	
●「ほの暗い感じ」に写すには	36
…内蔵ストロボOFF	
4. 自分が入っている写真は	37
…セルフタイマー	
5. 撮りやすくするために	38
…ストラップ(吊りひも), ケース, 視度補正レンズ, フィルター	

ちょっと上手に撮りましょう

1. はっきり写る範囲を自分で決めて
撮るには…デプス撮影
- 人の背景をぼかした写真
2. 写した日を残しておくには
- …クォーツデート
3. もっといろいろチャレンジしたい …

こんなときには (Q & A)	44
困ったときには	47
主要アクセサリ	48
手入れと保管について	50
ご注意	51
フィルム給送本数 (電池寿命) …	52
主要性能	53
各部名称	54
アフターサービス	55

保証書について

同封されている「ご愛用者カード」をお送りください。キヤノンEOSご愛用者として登録させていただくと同時に、本製品の「国際保証書」をお送りいたします。もし「国際保証書」をお受け取りになりませんと、万一故障した際、保証期間内の無料修理を受けることができませんのでご注意ください。

「ご愛用者カード」は必要事項をご記入のうえ、ご投函またはご購入店にお渡しください。尚お送りくださる際、販売店名印がない場合は、お手数ながら店名、住所(または所在地名)、電話番号をお客様にてご記入のうえお送りください。

EOSでこんな写真が…

EOSを使うと、こんな日常的な場面が表情豊かに、しかも手軽に撮れるようになります。



父親参観だから、普段見られない真剣な顔を撮ってやろうと思っていたのに、このありさまだ。ほかの子なんか、緊張してしっかり先生の話の聞いているっていうのに…。なんて坊主だ、まったく。

表情が撮りたかったので、教室前方の窓から撮りました。真剣な表情だったのに…。カメラを向けたらこのありさまです。

→プログラム撮影（P29参照）



子供って何でも口に入れてるんだから、困ったもんじゃ。特
にこの頃。アンヨが、ほら花を持たせてる。食べるに決ま
ないんだ。また、ほら花を持たせてる。食べるに決ま
っているの。...

逆光だったけど、ストロボが自動的に発光するから気にせず撮りました。初めてにしては良く撮れたと思います。
→内蔵ストロボ自動発光 (P36参照)



こんなに太っていたかな。確かによく食べるからなあ。
下の娘はお馬パカパカが気に入って、何回も乗った。
ものおじしないのは、母親似かな。

AFフレームを下の子に合わせ、シャッターボタンを半押しのまま上の子も入るように構図を変えました。下の子が顔を上げたときにシャッターボタンを押しました。あまり動きが速いとブレると聞いていたけど、うまい具合に写りました。

→フォーカスロック撮影（P32参照）



妻とはじめての海外旅行。香港・マカオ。こんなに向かう船の中です。ついなかつたあゝ。香港からマカオに向かう。海・空。何か

見たままだこまでもはっきり撮りたくなって、デプス撮影、はじめに手前のブイにAFフレームを合わせてシャッターボタンを1回、次に向こうの島に合わせてもう1回、最後に構図を決めて1回と計3回シャッターボタンを押しました。船の上だったので、ブレないように気を付けました。これ、自慢の写真です。

→デプス撮影 (P39参照)



とにかくじっとしていないんです。食事中でもこんな調子。ふざけてばかり。もちろん、私たちもそんな子供たちが好きなんですけど。子供に「静かに食べなさい」なんてムチャな話なんですわね。

保育園での生活をご父兄の方はあまり知らないなので、ありのままを写そうと思ったんです。ただ、生き生きした表情を撮りたいと思って近付いて撮りました。

→プログラム撮影（P29参照）

散歩に出るとすぐ寝ちゃう。昼寝しないで、夜寝りやいいのに。もう親は寝不足。でも外歩いていると、「かわいいですね」と知らない人が声をかけてきて、ちょっとイイ気分です。



ママの指をしっかりと握っているところが可愛いので、思いっきり近付いて撮りました。指にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを半押ししたあと、赤ちゃんの顔が入るように構図を変えて撮りました。ちょうど木漏れ日の中だったので、光の感じがうまく出ました。

→フォーカスロック撮影 (P32参照)



子どもがパンダが好きで、上野動物園に連れて行ったが、実際のパンダって、おもちゃのパンダをそのまま大きくしたような感じだ、特にゴロンところがるしぐさが何とも愛嬌がある。



「フラッシュ撮影お断り」と書いてあったので、ストロボスイッチをOFFにして撮りました。ストロボスイッチをOFFにしたら、Pマークが点滅して手ブレ警告が出たので、手ブレにならないようにしっかり脇を締めて撮りました。

→内蔵ストロボOFF (P36参照)



「もつと遊ばなくちゃ、結婚なんてまだまだだ」なんて言っ
ていたのに、知り合ってから半年もたたないうちにこれ
だもんね。ハネムーンはハワイ・西海岸だったって、調子い
いんだから、まったく。ウラヤマシューイ!

キャンドルサービスでまわりが暗くなったけど、自動的にストロボが光るので、ただシャッターボタンを押すだけです。ただ2人がまん中に入るようにAFフレームを彼女の顔に合わせたあと、構図を変えました。

もう一枚ストロボなしで撮ってみました(前ページ)。ほの暗い感じが出て、味がある写真が撮れました。

→内蔵ストロボ自動発光 (P35参照)



彼女の写真欲しかったんだけど、「ください」ともいえない。デートのときに撮ったけど、早くも撮った方が早いもんね。でも、デートにカメラもっていったら、「できあがったらくください」とか「だつて」ということは、僕の写真が欲しいというのかな？

三脚を使ってセルフタイマーで撮影しました。AFフレームを彼女に合わせ、絵画館がうまく入るように構図を作りました。しかも僕が入るところも考えて撮りました。

→セルフタイマー撮影 (P37参照)



望遠レンズ300mmをつけて、好きな路面電車を撮った。軌道のまわりにはビルが建ち、風景が少しずつ変わっていくけど、電車はガタゴトって感じだな。遠くの高層ビルも入れてこんな感じで写真が撮れるなんて、腕が上がった気がするよ。

写真って奥深いんですね。交換レンズを持つようになってから、いろいろとチャレンジするようになったんですが、面白いんです。レンズ一本でいろんな風に撮れるなんて知らなかった。

→レンズ交換 (P43参照)

とにかくオチャメなんです。おっぱい飲んだあとは、機嫌が良くてよく舌を出すんです。これもパパ譲りなのかしら？

「赤ちゃんの顔って、ちょっとの間にすごく変わるから写真に残しておくんだよ」とおばあちゃんにいわれたけど、少しも変わった感じがしないけどなあ…。



日付は自動的に変わるクォーツデートだから、あとはシャッターボタンを押すだけでした。顔の表情をはっきり撮るために、かなり近付いて撮りました。日付は黄色で右下に入るので、右下には黄色っぽいものが入らないようにしました。

→クォーツデート (750QDのみ、P41参照)



「写真美人」というんだらうね、
 もは口うるさい彼女も、カメラの
 だと「きれいに撮ってよ」といつ
 きり、「ちよつと斜め向いて」な
 りが僕の指示にも素直。でも、あ
 が恐いからデプスで撮影。ご
 覧のあと

ぼけの感じがよく出るように、背景に川の水や草を選びました。
 メインダイヤルスイッチをDEP（デプス）にしたあと、1・2回
 目とも彼女にAFフレームを彼女に合わせてシャッターボタンを押
 しました。このあと、少し構図を変えてシャッターボタンを押しま
 した。

→デプス撮影（P40参照）

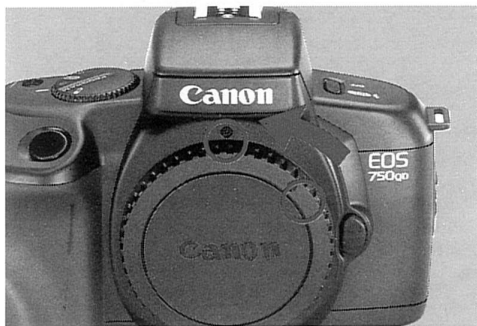
カメラの準備をしましょう

1 レンズを取り付けましょう



① レンズの底蓋を矢印の方向に回してはずします。

- ・ 取り付けるときは、レンズの赤指標と底蓋の○印を合わせます。

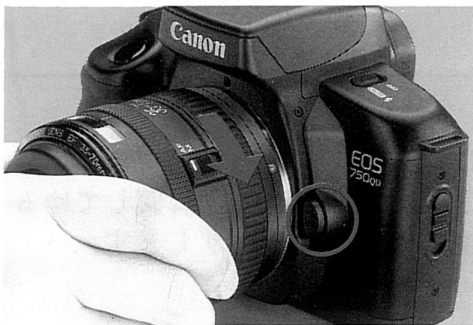


② カメラのボディキャップを矢印の方向に回してはずします。

- ・ 取り付けるときは、カメラの赤指標とキャップの○印を合わせて回します。



③ レンズとカメラの赤指標を合わせ、押しつけます。



④ レンズを矢印の方向に止まるまで回します。

- レンズをはずすときは、レンズ取り外しボタンを押しながら、取り付けのときと反対の方向に回します。



⑤ レンズキャップを矢印のように押しはずします。

- 35-70mmのレンズにレンズキャップを取り付けるときは、必ずズームリングの35の数字をズーム指標に合わせたあとで取り付けてください。



⑥ レンズのフォーカスモードスイッチをAFにします。

- AタイプレンズはAF専用レンズですので、フォーカスモードスイッチはありません。取り付けると自動的にAFとなります。

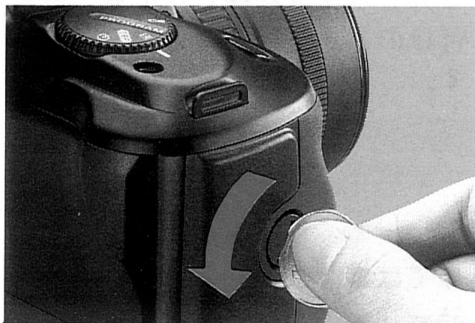
📌 レンズの置き方…レンズをはずしたときは、図のように電気接点やレンズ面を傷つけないように、カメラの取り付け面を上にして置いてください。

📌 カメラとレンズの接点と注意…レンズとカメラには、図のように各種の電気接点があります。汚れ、傷、指紋などによって接触不良や腐食の原因となることがありますので、取り扱いにはご注意ください。



2 電池を入れましょう

電池はリチウム電池パック（2CR5，6V）をお使いください。



- ① コインなどを使って、グリップ着脱ねじを矢印の方向に回してゆるめ、グリップをはずします。



- ② 写真のように、電池室の＋に電池の＋を合わせ、押し込みます。しっかり固定されるように押し込んでください。


- ③ グリップを取り付けます。
グリップ着脱ねじは確実に締めてください。

☝ 旅行に出かけるときや多量に写真を撮るときには、忘れずに予備の電池をお持ちください。

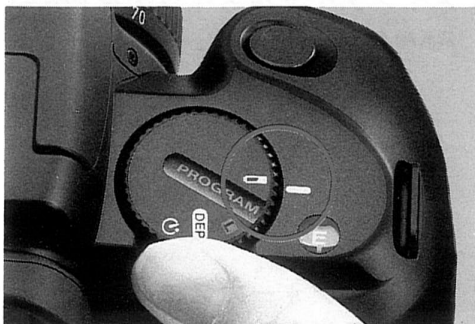
電池をチェックするには

バッテリーチェック

ご使用の前には、必ず電池の残量をチェックしてください。

メインダイヤルスイッチを  に合わせ、そのままにします。

チェック後、指を離すと、PROGRAMに戻ります。



ピピピピと速く鳴ったとき
(8回/秒)



残量が充分です

ピッ、ピッとゆっくり鳴ったとき
(2回/秒)




残量があまりありません
新品の電池を用意してください

電子音が鳴らないとき



残量がありません
電池を交換してください

 1本の新品電池で撮れるフィルムの本数については、P52をご覧ください。

3 カメラに慣れましょう

基本的な操作は、とても簡単です。次の3点を確認するだけです。

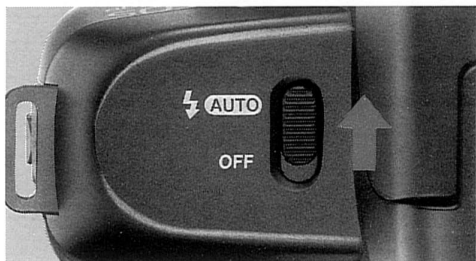


- ①メインダイヤルスイッチをPROGRAMに合わせます。



- ②レンズのフォーカスモードスイッチがAFになっていることを確認します。

・ Aタイプレンズは取り付けると自動的にAFとなります。



- ③ストロボスイッチをAUTOにします。
AUTOにしておくと、暗いところや逆光のときに自動的にストロボが発光します。

EOS 850にはこのスイッチがありません。

📷メインスイッチの働き

L (ロック) …カメラを使わないときにセットします。

PROGRAM (プログラム) …普通はここにセットします。自動的に適正露出になるようにカメラが、シャッタースピードと絞りを組み合わせます。

DEP (デプス) …撮りたいものの背景をぼかしたり、シャープにしたりするこ

とができ、写真に立体感や広がり感を出したいときなどにセットします。(P39参照)。

🔋 (バッテリーチェック) …電池の残量を調べるときに使います。(P11参照)。

🕒 (セルフタイマー) …セルフタイマーで撮影するときにセットします。(P37参照)。

4 カメラを正しく構えましょう

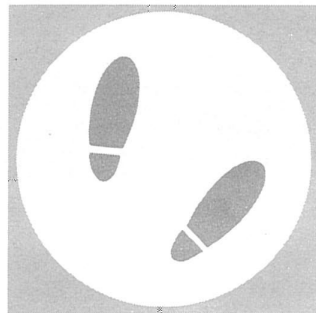
写真を撮るとき、カメラが動く（ブレる）とシャープな写真が撮れません。シャッターボタンを押してもブレないようにしっかり構えて、ファインダーをのぞいてください。



カメラを手のひらで支えるように持ちます。カメラを持っている腕は、脇を締めてください。また、両足はそろえず、片足を踏み出すようにします。ファインダーをのぞくときは、カメラに額をつけるようにして接眼部をのぞいてください。



長いレンズをつけたときは、レンズを手のひら全体で受けるようにします。



5 シャッターボタンの押し方に慣れましょう

フィルムを入れる前に、シャッターボタンの押し方をよく練習しておきましょう。

AFフレーム



- ① ファインダーをのぞいて、AFフレームの中に撮りたいものを入れます。

ピントはAFフレームで合わせます。



露出表示

ピント表示

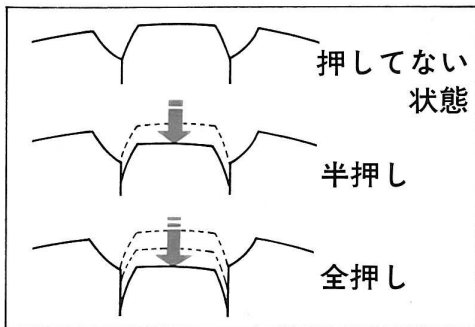
- ② シャッターボタンを軽く押し、半押しのままにします。

ファインダー内にPマーク（露出表示）と●マーク（緑マーク／ピント表示）が表示されます。半押しのみで、シャッターチャンス待つこともできます。

- ③ 半押しからシャッターボタンをゆっくり押しします。

☛ シャッターボタンは、2段式になっています。

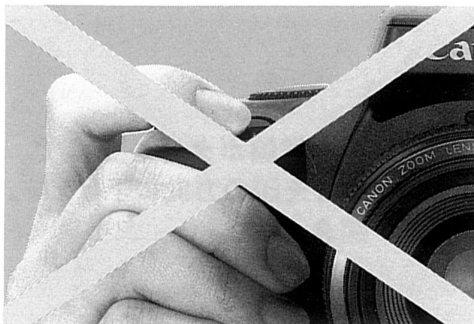




半押し→ピント(●マーク)と露出(Pマーク)が決まります。

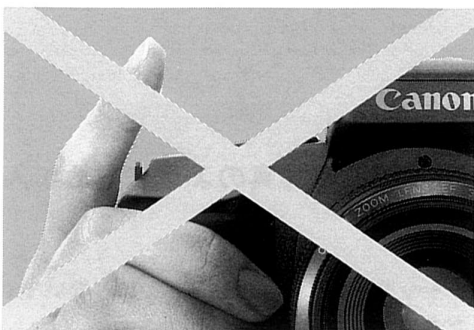
全押し→写真が撮れます。

●マークが点滅してピントが合わないときは、シャッターが切れません。



シャッターボタンを押すときは、人差し指の腹でゆっくり押ししてください。指を立てないでください。

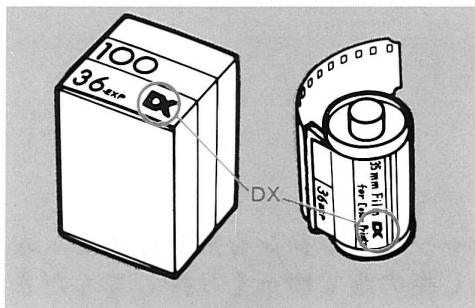
また、指をシャッターボタンから離して一気に押すと、カメラが動きシャープな写真が撮れません(カメラブレ)。



- 🔊 繰り返し練習するときは、電池の消耗を少なくするためにストロボスイッチをOFFにすることをおすすめします。なお、このとき暗いところではファインダー内のPマークが点滅します。

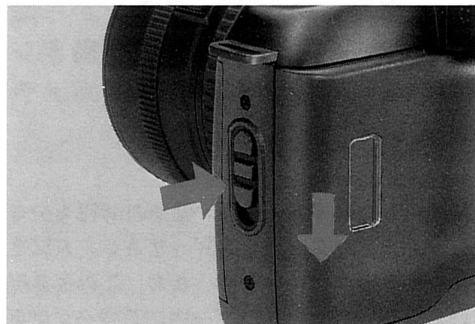
6 フィルムを入れましょう

このカメラは、撮れる枚数がひとめでわかるプリwind (Prewind) 方式です。最初にフィルムを全部巻き取り、1枚撮るごとに巻き戻します。撮影毎にフィルム枚数計が1つずつ減り、残りの枚数が表示されます。

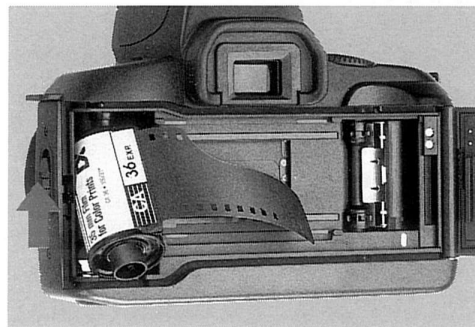


☝ フィルムはDXマーク付きのものをお使いください。

カメラが自動的にフィルムの感度を読み取ってセットします。

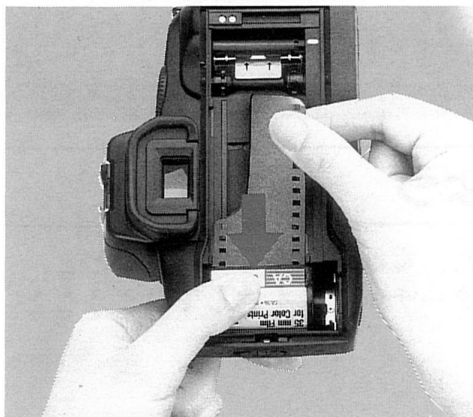


① 裏蓋ロック解除ボタンを親指で、押しながら矢印の方向に下げます。裏蓋が開きます。

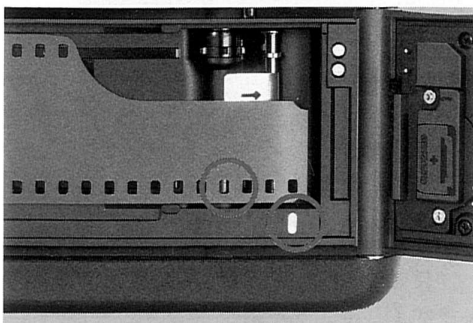


② フィルムを写真のように斜めに入れます。

☝ シャッター幕には、絶対に手で触れないでください。



- ③写真のようにカメラを倒さないように左手でカメラとパトローネ(フィルム容器)を押さえ、右手でフィルムを引き出します。



- ④フィルムがたるまないようにして、フィルムの先をオレンジマークに合わせます。

🔔フィルムを引っ張りすぎたときは、パトローネに巻き戻して、長さを調節してください。



- ⑤裏蓋を閉じます。

フィルムの巻き取りがはじまり、フィルム枚数計の数字が増えていきます。

最後にシャッターが切れるような音がしたあと、入れたフィルムの枚数がフィルム枚数計に表示されます。これがプリwind方式です。

🔔フィルム枚数計が「E」のままで、電子音がしたときは、フィルムが正しく入っていません。入れ直してください。

🔔裏蓋のフィルム確認窓でフィルムの種類がわかります。



チャンスを生かして撮りましょう

1 撮る前に確認しましょう

写真を撮るとき、フィルムを入れ忘れた、電池がなくなった…などと、ちょっとしたミスでせっかくのシャッターチャンスを逃してしまうことがあります。

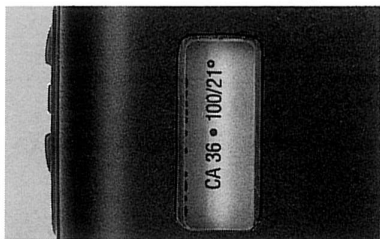
撮る前には、次の点を確認しましょう。



①電池は大丈夫ですか？



②メインダイヤルスイッチは、PROGRAMになっていますか？



⑤フィルムは入っていますか？



③レンズはAFになっていますか？



・ Aタイプレンズは自動的にAFとなります。

④ストロボスイッチはAUTOになっていますか？(EOS 750/750QDのみ)

2 写真を撮りましょう

オートフォーカスで写真を撮るには、シャッターボタンの押し方をマスターしておくことです。フィルムを入れずにシャッターボタンの押し方を何回も練習しておくこと、いざというときシャッターチャンスを逃さずにすみます。P24「5. シャッターボタンの押し方に慣れましょう」で、練習しておきましょう。

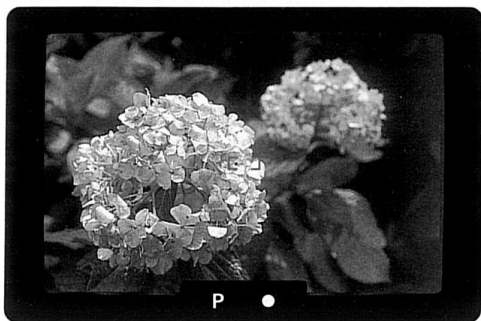


- ①ファインダーをのぞいて、AFフレームをピントを合わせたいものに向けます。
- ②シャッターボタンを軽く押し、半押しのままにします。ピピッという音がして、ピントと露出が決まります。また、ファインダー内の●マークとPマークが点灯します。これで、きれいな写真が撮れるようになりました。

なお指を離すと●マークとPマークが消えます。暗いところや逆光のときは、自動的にストロボが上がります。

●マークやPマークが点滅したとき（プログラム撮影のとき）

機種	●マークの点滅	Pマークの点滅
EOS 750 QD (ストロボスイッチAUTOのとき)	ピントが合いません。このままでは、シャッターボタンが押せません。明暗差のハッキリしたものにAFフレームを合わせてください。	点滅しません (ただし極端に明るすぎるときのみ点滅(8回/秒))
EOS 850 750(QD)の ストロボスイッチOFFのとき	上と同じです	速く点滅(8回/秒) ⇨ 撮りたいものが明るすぎたり、暗すぎるときです。きれいな写真になりません。NDフィルターかストロボをお使いください。 ゆっくり点滅(2回/秒) ⇨ 手ブレが起きやすくなります。ストロボや三脚を使って撮ってください。



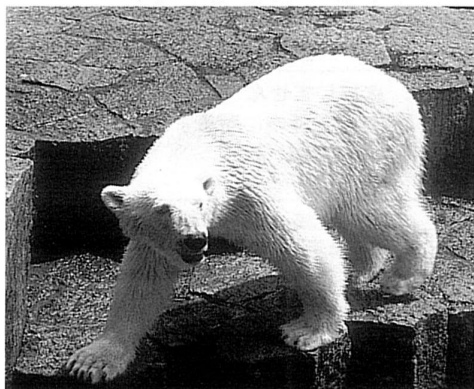
- ③シャッターボタンを半押しのまま、撮りたい構図をきめます。



- ④シャッターボタンを押します。フィルムが巻き取られ、次の撮影ができるようになります。フィルムが終わると、フィルム枚数計に「E」が表示されます。

🗨️ フィルムを抜かずにそのままシャッターボタンを押すと、巻き上げ音と電子警告音がします。

カメラの構え方とシャッターボタンの押し方で写真がこんなに違います。右の写真は、シャッターボタンを押したとき、カメラも動いてしまいました。これをカメラブレといいます。カメラブレを防ぐには、正しくカメラを構え、シャッターボタンをゆっくり押してください。(P23参照)



手ブレなしの写真



手ブレが出た写真

3 これが、EOSの世界です

…高速高性能AF，評価測光，インテリジェントプログラム



シャッターチャンスを逃しません（高速高性能AF）

ピント合わせの速さは、抜群。撮りたいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを押すと、瞬時にピントが合います。

光の変化にも自在に対応してきれいな写真が撮れます（評価測光）

撮りたいものだけでなく、その置かれた状態、大きさなどをも考慮して露出をきめます。むずかしい逆光下でもきれいに写ります。これが、評価測光です。

安心して撮影できます（インテリジェントプログラムAE）

レンズの明るさと焦点距離に応じて常に手ブレを防止するようにシャッタースピードを優先して絞りが自動的にセットされます。したがって、ズームレンズの焦点距離変化に合わせて、手ブレ警告を表示することもできます。最適な露出を自動的に算出するインテリジェントプログラムAEは、誰でも安心してきれいな写真が撮れます。

オートフォーカスの上手な使い方

…フォーカス（AF）ロック撮影
シャッターボタンを半押しのままにすれば、ピントと露出は変わらないので構図を変えて思いのままに写真が撮れます。これをフォーカスロック撮影といい、次のようにします。

人を画面の端に寄せた写真は



人物を端に入れて撮りたいときは、いったん撮りたい人物にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えて写します。



- ① AFフレームを人物に合わせ、シャッターボタンの半押しでピントを合わせます。



- ② シャッターボタンを半押しのまま、撮りたい構図にして、そのままシャッターボタンを押します。

二人を入れた写真は



二人並んだ写真を撮るとき、構図によってはピントを合わせるAFフレームが、人物と合わないことがあります。

このようなときは、いったん人物にAFフレームを合わせ、フォーカスロックして写真を撮ります。

動きのあるものを撮るには



動いている人や物を撮るには、あらかじめ撮ろうとする位置でピントを合わせ、フォーカスロックして構図を決めて待ちます。そして、ファインダーに入ったときにシャッターボタンを押します。

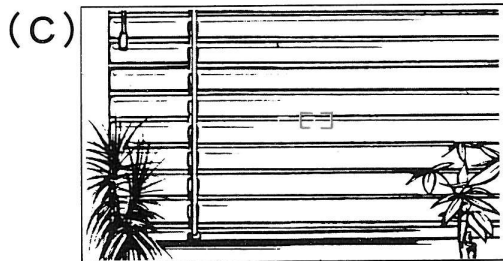
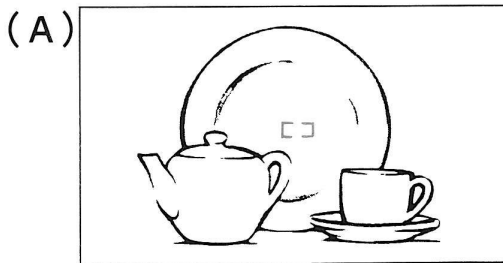
オートフォーカスが苦手なものを撮るには

ほとんどのものにピント合わせができますが、次の表のような特別なものには、まれにピントが合わないことがあります（●マーク速く点滅）。

	撮りたいもの
AF測距ができないもの または誤測距するもの	コントラスト（明暗差）が極端に低いもの……………（A）
	非常に暗いところにあるもの……………（B）
	ブラインドなど縦線のないもの……………（C）
	AFフレームの中に遠くと近くのもの共存するとき……………（D）
	極端な逆光状態にあり、かつ光の反射が強いもの 高速で移動するなど、安定測距のできないもの

これらを撮るときには、次のいずれかの方法でピントを合わせることができます。

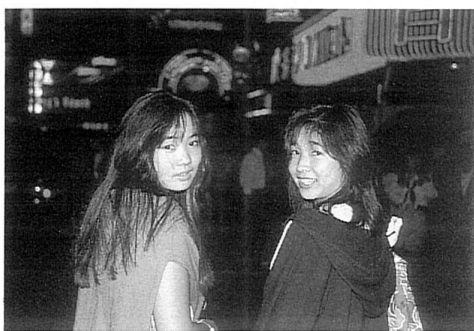
- ①特に（A）のような場合は、撮りたいものとほぼ同じ距離にあるものでフォーカスロックをして撮影します。
- ②特に（C）のような場合は、カメラを縦に構えてAF測距をし、構図を決め直して撮影します。
- ③フォーカスモードスイッチがついているレンズの場合は、M（マニュアル）にしたあと、手動フォーカスリングを回してピント合わせをします。




暗いところではストロボが自動発光

…内蔵ストロボ自動発光

暗いところで写真を撮ろうとすると、カメラが露出警告表示中だったり、ストロボが充電中（発光準備中）だったりするために、シャッターチャンスを逃してしまうことがあります。EOSはストロボ内蔵ですので、シャッターチャンスを逃さず写真が撮れます。シャッターボタンを半押ししたとき、ストロボ発光が必要とカメラが判断したときは、自動的に内蔵ストロボが上がり、いつでも撮影ができるようになります。



この内蔵ストロボを使うと、シャッターチャンスを逃さないと同時に、手ブレの心配がなく、色鮮やかに撮れます。

あまりに暗くてカメラが距離を測れないときは、ストロボのAF補助光投光部から光が出て距離を測ります。AF補助光の投光は、ストロボスイッチを  **AUTO** にしているときです。ただし、AF補助光で測れる距離は、1～4 mです。

ストロボ撮影ができる範囲 [F 2.8, 暗]

	リバーサル	ネガ
ISO100	1.0～4.3m	0.7～6.0m
ISO400	8.5m以内	12.0m以内

なお、EOS850にスピードライト160E（別売）を付けると、内蔵ストロボと同じように自動発光撮影となります。

- 📷 レンズフードを付けたまま内蔵ストロボを使うと、フードでストロボ光がケラれますので、必ずフードをはずしてください。
- 📷 内蔵ストロボが飛び出しているときは、絶対に他のストロボを取り付けしないでください。

逆光でもストロボが自動発光

…内蔵ストロボ



評価測光は逆光でもきれいに撮れますが、極端な逆光のときや明暗差の激しいところでは内蔵ストロボが自動発光して人物が暗くなるのを防ぎ自然な感じにします。

極端な逆光のときでも人物など撮りたいものを小さく入れるとストロボは発光しませんので、撮りたいものを大きく入れてください。たとえば人物ポートレート写真では、上半身をファインダー一杯に入れるようにしてください。

逆光のとき効果的に撮影できる範囲の目安

EOS 750 / 750 QD	EOS 850にスピードライト160Eを付けたとき
約2.0m以内	約2.5m以内

「ほの暗い感じ」に写すには

…内蔵ストロボOFF

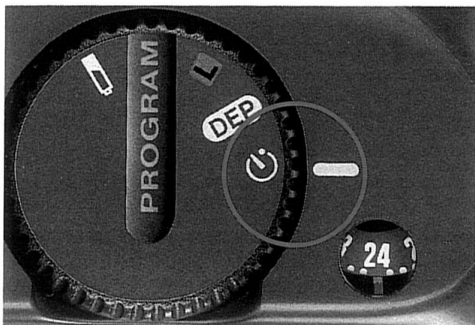
夜景などほの暗い場所の感じをそのまま写真に撮りたいときは、内蔵ストロボを自動発光させずに（850はストロボを取り付けないで）写真を撮ります。ロマンチックな雰囲気が出ます。また、「ストロボ撮影お断り」と掲示されたところで撮るときにも、お使いください。

ストロボを自動発光させたくないときは、ストロボスイッチをOFFに合わせます。なお、ほの暗さを表現するために、ストロボスイッチをOFFにするとPマークがゆっくり点滅（2回/秒）します。三脚を使って撮影してください。

4 自分が入っている写真は

…セルフタイマー

セルフタイマーで自分自身が入っている写真を撮るときは、三脚をお使いください。



- ①メインダイヤルスイッチをセルフタイマーマークに合わせます。
- ②自分自身が入る位置にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しします。
- ③シャッターボタンを押します。
10秒間電子音が鳴ります。

最初ゆっくり(2回/秒)ピッ、ピッ → 8秒間

次に速く(8回/秒)ピッピッ → 2秒間



ファインダーから目を離してシャッターボタンを押すときは、逆入光を防止するためにストラップ肩当てからファインダーカバーをはずして、写真のように接眼部に取り付けてください。

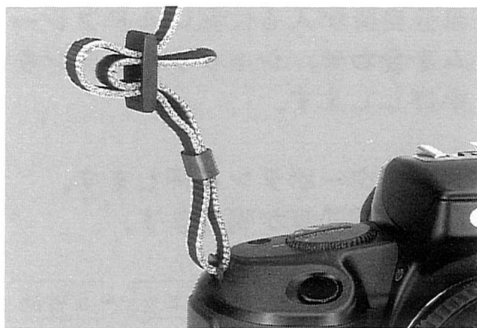
- ④セルフタイマーを途中でやめたいときは、メインダイヤルスイッチをセルフタイマーマーク以外のところに合わせてください。

5 撮りやすくするために

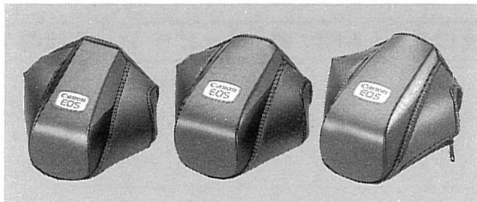
…ストラップ（吊りひも）、ケース、視度補正レンズ、

カメラを持ち歩くときには、付属のストラップ（吊りひも）と別売のケースをご利用ください。

視力の弱い方は視度補正レンズ（別売）を使うと、メガネなしでもファインダーがきれいに見えるようになります。

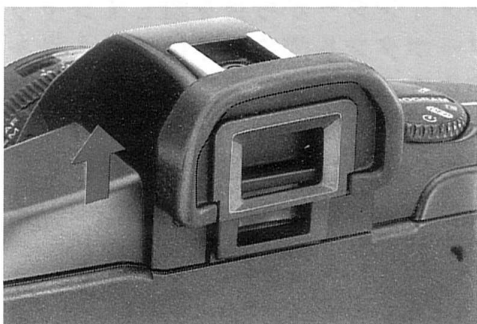


ストラップの取り付け方
ストラップの先が止め金の内側になるように通してください。



カメラケース（別売）には、次の3種類があります。

サイズS	EF 50mm F 1.8付収納可能
サイズL	EF 35-70mm F 3.5-4.5付 収納可能
サイズLL	EF 35-105mm F 3.5-4.5付 収納可能



視度補正レンズは、10種あります。視度補正レンズを選ぶときは、店頭でカメラに取り付け、ファインダーをのぞいて確認してください。

視度補正レンズの取り付け方
アイカップを上引き抜かず、視度補正レンズを取り付けてください。

ちょっと上手に撮りましょう

1 はっきり写る範囲を自分で決めて撮るには

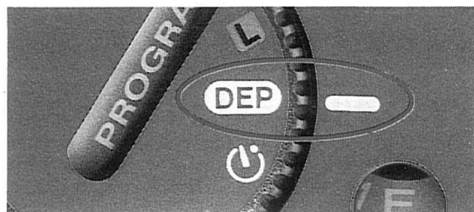
…デプス撮影 (DEPTH)

何列にも並んだ集合写真を撮るとき、どうすれば全員がきれいに写るか迷います。

このようなときは、メインダイヤルスイッチを **DEP** (デプス) に合わせると、はっきり写るピントの幅をご自分で決めて写真を撮ることができます。

①デプス撮影では、はっきり写る範囲を決めるときにシャッターボタンを2回、構図を決めて写真を撮るときに1回、と計3回押します。

②なお、デプス撮影ではストロボを使うことができません。



- ①メインダイヤルスイッチを **DEP** に合わせます。
- ②まず、近いところにAFフレームを向けてピントを合わせます。
ピピッと電子音が鳴り、●マークがゆっくり点滅します。
ピント合わせのあとは、シャッターボタンから指を離してください。

③遠いところから先に合わせてもかまいません。





- ③次に、構図を変えてもう1点にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを押します。
ピピッと電子音が鳴り、●マークが不規則に点滅します。
これで、2つの地点にピント合わせができました。
- ④撮りたい構図に変えて、シャッターボタンを半押しします。●マークの点灯を確認して撮影してください。

- ☞●マークの速い点滅(4回/秒)は2点間がシャープに写らないことです。しかし、Pマークが速い点滅(8回/秒)をしなければ、露出は適正となりますので、撮影してもさしかえありません。
- ☞手ブレ警告(Pマークが2回/秒で点滅)が表示されたときには、三脚をお使いください。
- ☞途中で中止したいときは、メインダイヤルスイッチを **DEP** 以外へ回してください。
- ☞広がり感を表現したいときは、広く写る広角レンズとデプス撮影を組み合わせてください。
- ☞デプス時は、シャッターボタンから指を離しても、撮影情報は8秒間表示されます
- ☞ズームレンズ使用時は、1点目のピント合わせをしたあとに焦点距離を変えないでください。必ず構図・画角を先に決めてください。

人の背景をぼかした写真は

女性のポートレート写真などでは、背景をぼかすと撮りたい人が浮き上がり、雰囲気の良い写真になります。このような写真を撮るときにもデプスは効果的です。

背景をぼかすには、1点目と2点目とも同じ距離のものにピントを合わせてはつきり写る幅をせまくして撮ります。人の背景をぼかした写真を撮るときには、望遠レンズのご使用をおすすめします。

2 写した日を残しておくには

…クォーツデート

E O S 750 Q Dにはクォーツデートが付いています。

このクォーツデートの時計には、あらかじめ現在の日時がセットされています。2019年までのオートカレンダーが組み込まれているので、日付をご自分でセットする必要はありません。

日付と時間の確認



表示切り換えボタン
(MODE)

修正位置選択ボタン
(SELECT)

表示パネル

数値セット
(SET)

カメラには、「年月日」が表示されていますので、そのまま撮影すると写真に日付が入ります。

MODEボタンを押すと、写し込む表示が次のように変わります。

◇〈年・月・日〉表示

88 9 5
(1988年 9月 5日)

◇〈日・時・分〉表示

5 16:48
(5日 16時 48分)

◇〈ハイフン〉表示 (写し込みなし)

◇〈月・日・年〉

9 5 88
(1988年 9月 5日)

◇〈日・月・年〉表示

5 9 88
(1988年 9月 5日)

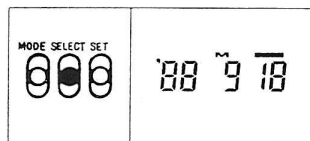
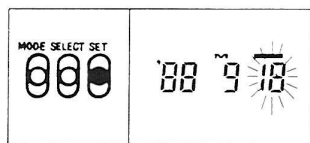
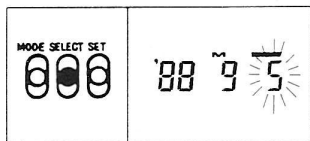
■ — は写し込み確認表示で、シャッターを切ると点滅して知らせます。

■ M は〈月〉を表します。

写し込みをしないとき

日付や時間の写し込みをしないときは、MODEボタンを押して、「-----」と表示します。

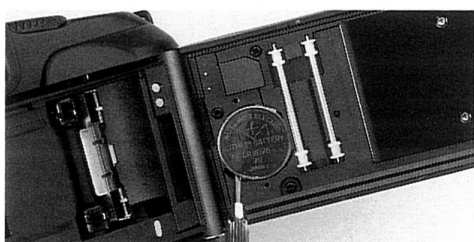
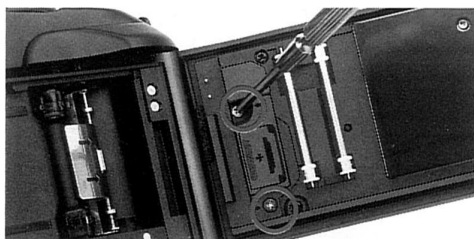
写し込む日付を変えるには



海外旅行などで日付・時刻を修正するときは次のようにします。

- ①表示切り換えボタン (MODE) を押して、表示パネルに修正したい<年・月・日>表示<日・時・分>を出します。
- ②修正位置選択ボタン (SELECT) を押して、修正したい数字を点減させます。
- ③数値セットボタン (SET) を押して修正します。
- ④点減が止まるまで修正位置選択ボタン (SELECT) を押します。

デート用電池の交換



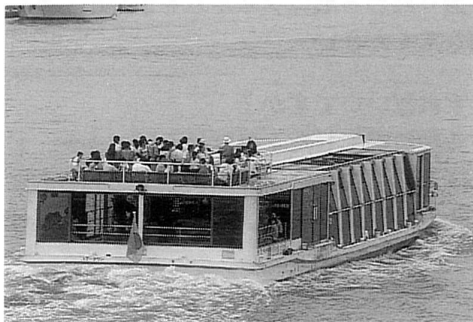
表示が薄くなったら、取り替えてください。寿命は約3年。デート用電池はボタン型リチウム電池CR2025.3V 1個です。

- ①裏蓋を開け、電池室のふたを取りはずします。
- ②図のように電池を取りはずします。
- ③電池の+を上にして入れ、ふたを取り付けます。
- ④日付と時間をセットし直します。

3 もっといろいろチャレンジしたい

…レンズ交換

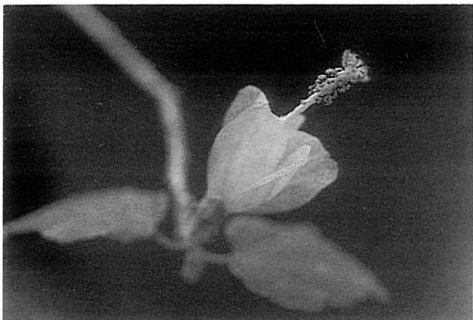
レンズを変えると、こんな写真が撮れます。



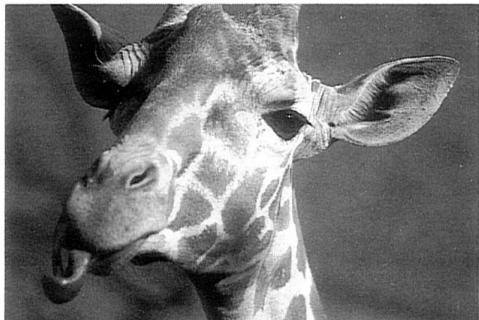
望遠レンズ



広角レンズ



マクロレンズ



望遠レンズ

A F一眼レフカメラの大きな魅力は、いろいろな種類のレンズを交換して創造的な写真を写したり、広い範囲が写せることです。

望遠レンズを使うと、遠くからでもカメラを意識させないで自然な表情を撮ったり、近寄れないものを大きく撮ることができます。

マクロレンズを使うと、近寄って小さいものを大きく写すことができます。

広角レンズは、風景のように広い範囲を写したり、遠近感を強く表現することができます。

こんなときには (Q&A)

フィルムについて

Q：フィルムをすべて撮り終える前に巻き戻すことはできますか？

A：途中で巻き戻すことはできません。すべて撮り終わる前にフィルムを取り出したいときは、空撮りして残りのフィルムを巻戻してください。

Q：誤って裏蓋を開けてしまったときは、どうすればいいですか？

A：すぐに裏蓋を閉めてください。裏蓋を開ける前に撮影した1コマは心配ですが、他の撮影済みのフィルムは大丈夫です。まだ撮影していないフィルムは、感光されて使えない恐れがありますので、残りのフィルムを空撮りした後、新品のフィルムに入れ替えることをお勧めします。

撮影について

Q：オートフォーカスで撮った写真がピンボケでした。故障ですか？

A：故障と思う前にまず「オートフォーカスが苦手なものを撮るには」(P34)をご覧ください。ピンボケになった写真を撮ったときの状況と似ていないかどうか確認してください。状況が違っているか、撮影した写真がすべてピンボケになっているときは、故障している可能性がありますので、お近くのサービスステーションにご相談ください。

Q：内蔵ストロボまたは専用スピードライト160Eを使って、逆光のときに人を撮影するとき、効果的な距離はどのくらいですか？

A：一概にはいえませんが、おおよそ次のような距離を目安にしてください。

EOS 750/750QDの内蔵ストロボ……………約2.0m以内

EOS 850にスピードライト160E装着……………約2.5以内

Q：内蔵ストロボを使ってストロボ撮影をすると、人物の目が赤く写し込まれます。なぜですか？また、どうすれば、人物の目が赤く写し込まれないようにできますか？

A：目の奥にある網膜がストロボの光を正反射するために起こる現象で赤目といわれています。この赤目は、ストロボ位置とレンズが近いほど出やすくなります。

内蔵ストロボを使うときは、人物になるべく近付いてストロボ撮影すると赤目が出にくくなります。それでも赤目が出るときは、他のEOS用外部ストロボをお使いください。しかし、それでも条件によっては赤目になることがあります。

Q：寒いところで撮影するときは、どんなことに注意すればよいでしょうか？（たとえば、スキー場で）

A：寒さに強いリチウム電池といえども、寒冷地では常温に比べると性能が落ちます。したがって、たくさんの写真を撮るときは、予備電池を用意し、体温で暖めながら交互に使うと良いでしょう。

なお、性能が落ちてでも常温に戻ると回復しますので、捨てないでください。また、寒いところで使ったカメラを暖かい室内に持ち込むと、急激な温度差によってカメラに水滴が付きますので、戸外でビニール袋にカメラを密封したあとと室内に入れ、そのまま室内に30分位放置してから取り出してください。

カメラをより深く理解するために

Q：露出とはなんですか？

A：写真を撮るには、フィルムに適切な光を当てなければなりません。この光を当てることを露出といいます。

フィルムに当てる光の量を調節するのは、シャッターと絞りです。シャッターは光の当たる時間（シャッタースピード）を、絞りは光の通る入口の大きさ（絞り値）を調節します。このシャッタースピードと絞り値の組合せて、適正露出が決まります。EOSでは、インテリジェントプログラムAEと評価測光によって、最適な露出になるようになっています。

Q：手ブレとはどうなることですか？

A：手ブレとは、シャッタースピードが遅いと起こりやすく、写真がブレてしまうことをいいます。

一般的に手ブレは、撮影時のシャッタースピードがレンズの1／焦点距離になると、起きやすくなるといわれています。EOSのインテリジェントプログラムAEでは、この手ブレになるかどうかを使用レンズに合わせて調べ、手ブレしそうなときは、Pマークを点滅（2回／秒）させて手ブレ警告を発します。EOS750／750QDは、ストロボスイッチをON状態にしておけば、自動的にストロボが発光し、手ブレにならずきれいな写真が撮れます。

Q：被写界深度とはどんなことですか？

A：ピントを合わせたところ以外にもはっきり写って見えるところがあります。この範囲を被写界深度といいます。このEOSではメインダイヤルスイッチをDEPに合わせて2つのポイントを測距すると、被写界深度を調節した撮影ができます。これをデプス撮影と呼びます。

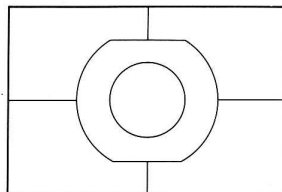
Q：評価測光とは、どういうことですか？

A：AFカメラはファインダー中央のAFフレームでピント合わせをしますので、撮影するときは撮りたいものが、ファインダー中央にきます。また、写真は撮りたいものを真ん中に入れて写すのが、多くの人の一般的な撮り方です。

これらのことからEOSは画面中央のもの（ある程度以上の大きさのもの）が、まわりとの関係から適正な露出になるようにしました。これが、評価測光です。

評価測光は、ファインダーを中央、中間、周辺（周辺は4分割）の6つに分けて光の状態を測ります（測光）。評価測光は、撮りたいもののおおよその状況（撮りたいものの背景、撮りたいもの、光線状態）

と同時に大きさもある程度判断して露出を決めるので、撮りたいものが逆光でも適正露出になります。

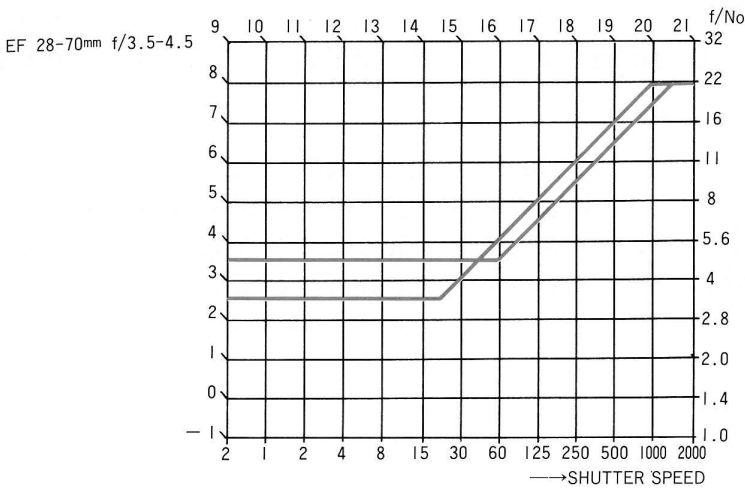


Q：日中シンクロとはどんなことを言うのですか？

A：フラッシュは普通暗いところで使いますが、日中戸外でフラッシュを使って撮影する方法です。極端な逆光で人物の顔などが暗くつぶれるのを避けるために使います。EOS 750 (QD) では明暗差を感知して内蔵ストロボが自動発光し、人物と背景のバランスをとってきれいに写します。

Q：インテリジェントプログラムAEとはなんですか？

A：使っているレンズの特性（開放値、撮影時の焦点距離）に合わせて、最適な露出になるようにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを選ぶプログラムです。自動的にセットされたシャッタースピードが使用レンズの1/焦点距離以下になると、手ブレ警告をするようになっています。これは、一般的に1/焦点距離のシャッタースピードが手持ち撮影の限界とされているためです。レンズそれぞれの焦点距離が違いますが、これを自動的に判断して最適な撮影状態にします。これをインテリジェントプログラムAEといいます。



困ったときには

困ったときには、次のことを調べてください。

? カメラが動かない

A : ①電池が消耗していませんか? バッテリーチェックをしてください。

②メインダイヤルスイッチがL (Lockロック) になっていませんか? メインダイヤルスイッチをPROGRAMにセットしてください。

それでも動かないときは、故障と思われます。お近くのサービスステーションにご相談ください。

? レンズキャップが取り付かない

A : ズーミングリングを最広角にすると、取り付きます。

? デプス撮影ができない

A : レンズのフォーカスモードスイッチがMになっていませんか? AFにしてください。

? レンズが動かない

A : ①フォーカスモードスイッチがMになっていませんか? AFにしてください。

②レンズは完全にに取り付いていますか?

? レリーズボタンを押したり、フォーカスモードスイッチを切り換えると、モーター音のあとピピピピという電子音がする

A 1 : 撮影済みのフィルムが入っていませんか、裏蓋を開けて抜き取ってください。

A 2 : フィルムが正しくセットされていますか? もう一度フィルムを正しく入れ直してください。

主要アクセサリ



EOS 850に付けると、750/750QDの内蔵ストロボ同様の働き（逆光時や低輝度時に自動的に発光）をします。電池はリチウム電池を使います。スイッチもなく取り付けるだけですぐに使えます。EOS 750にも使用できます。ガイドナンバーは、16です。

スピードライト420EZ/300EZ



暗いところから日中シンクロまで完全自動対応する高性能ストロボです。

光量が強く、遠くまで撮影できます。また、使用レンズの焦点距離に合わせてフラッシュが照射範囲を自動調節します。便利なクイック充電発光撮影もできます。もちろん、バウンス撮影（420EZのみ）もできます。

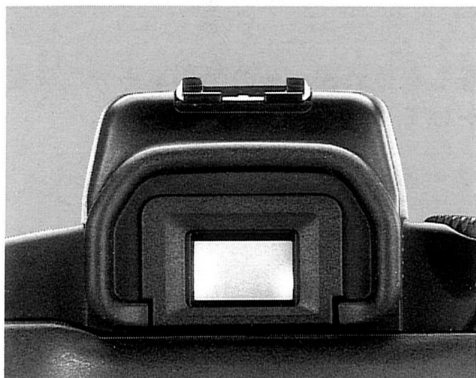
日中シンクロ撮影のときなど撮りたいものと背景の明るさのバランスを不自然さが生じないように調光する、キヤノン独自のA (Advanced) - TTL方式を採用しています。

ガイドナンバーは、420EZが35、300EZは28（ともにISO100・m、照射範囲50mm位置にセット時）です。

420EZまたは300EZを取り付けたときは、ストロボ連動距離範囲を越えると、Pマークが速く点滅（8回/秒）して警告します。

☹ EOS 750に別売のストロボを取り付けると、内蔵ストロボは発光しません。

視度補正レンズ



視度補正レンズを取り付けると、近視・遠視の方でも眼鏡なしで撮影することができます。カメラ本体の視度は、-1ジオプターですが、交換用視度補正レンズは10種類あります。実際にカメラに取り付けてのぞいて確かめてから選んでください。

視度補正レンズは、視度補正レンズ自身と着脱式のラバーフレーム（アイカップ）からできています。ラバーフレームと視度補正レンズを一緒にお求めください。

手入れと保管について

どんなに優れたカメラでも適切な手入れをしなければ、その性能を十分に発揮できません。常に手入れをするように心がけてください。

手入れ用具 (市販品)	ブロワーブラシ、クリーナー液、クリーニングペーパー、シリコンクロスなど
----------------	-------------------------------------

① レンズとファインダー接眼部

ブロワーブラシで砂やほこりを吹き払い、クリーナー液を含ませたクリーニングペーパーで軽く拭き取ってください。

② カメラの反射ミラー

ブロワーブラシで吹き払うだけにしてください。どうしても拭かなければならないときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにお持ちください。

③ フィルム室内

フィルムかすなどが付きやすいので、常にゴミをブロワーブラシで吹き払うようにしてください。ゴミや砂があると、フィルムを傷つける原因となります。

④ レール面や圧着板

汚れたときは、クリーナー液とクリーニングペーパーを使用して拭いてください。

● シャッター幕には絶対に手で触れないようにご注意ください。

● エアボンベタイプのブロワーの使用はおすすめできません。もし使用する際は、シャッター幕から20cm以上離してお使いください。

保管

カメラケースを外し、電池を抜き取って、湿気やほこりのないところに保管してください。また、カメラは長時間使用しないでおくと、カビや故障の原因となることがありますので、ときどきシャッターを切るようにしてください。特に梅雨時にご注意ください。

次のような場所に保管することは避けてください。

① 車のトランクやリヤウインドーなどは高温になり、故障の原因となることがあるため避けてください。

② 実験室などのような薬品を扱う場所はサビ・腐食などの原因になるため避けてください。同様にタンスの中なども避けてください。

長期間使用しなかったあとや、海外旅行など大切な撮影の前には、各部の作動を最寄りのキヤノンサービスステーション、またはご自身でチェックしてからご使用ください。

ご注意

1. リチウム電池について

カメラは電池（リチウム電池パック 2CR5, 6V, 1個）を正しく入れてはじめて作動します。次のようなときは、まずメインダイヤルスイッチをバッテリーチェックマークに合わせ、電池の性能を確認してください。

- ①電池を交換したとき
 - ②長時間カメラを使用しなかったとき
 - ③シャッターが切れなくなったとき
 - ④寒冷地で撮影するとき
 - ⑤その他、大切な写真を撮るときなど
- 電池をカメラに入れるときは、電池接点の汚れや指紋などをよく拭き取ってください。そのまま入れると、接触不良や腐食の原因となることがあります。
 - 長時間使用しないときは、電池を抜き取って保管してください。
 - 電池の分解や充電、高温下での放置、および接点をショートさせたり、火の中に投げ入れることは、危険ですので絶対にしないでください。
 - この電池は低温特性にも優れていますが、0℃以下ではやや電池性能が低下します。寒冷地でご使用になるときは、予備の電池を用意し、ポケットなどに入れ保温しながら交互に使用することをおすすめします。
 - 電池に書いてある注意書きもご覧ください。

2. フィルムのX線による感光防止について

フィルムはカメラに入っている場合でも、空港でのX線検査による感光は防止されません。フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。

3. 750/750QDについて

内蔵ストロボ用高電圧回路が組み込まれていますので、ご自分で分解なさらないでください。修理は必ずキヤノンサービスステーションにお出しく下さい。

4. 750/750QDに専用ストロボを取り付けるとき

内蔵ストロボが飛び出ているときは、絶対に他のストロボを取り付けしないでください。飛び出しているときは、指で押し戻した後、取り付けてください。

フィルム給送本数（電池寿命）

新品のリチウム電池パック（2CR5）を使ったとき

[EF 50mmF / 1.8・24枚撮りフィルム使用]

750 / 750QD / 850

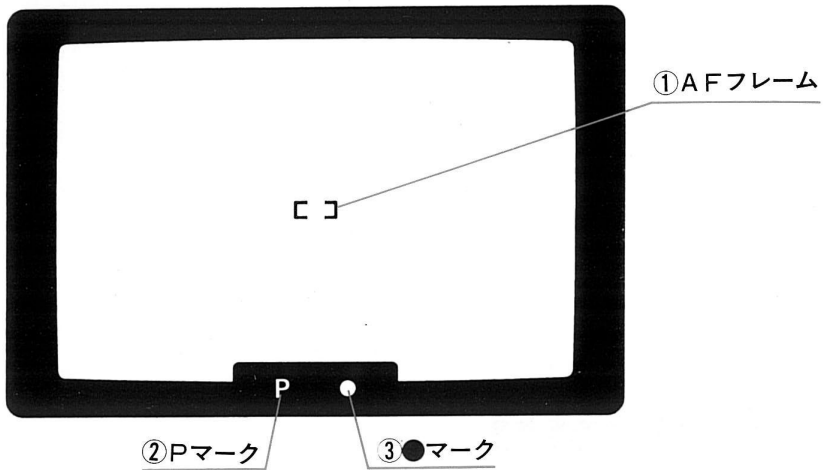
温度	条件	ストロボ撮影なし	30%ストロボ撮影	すべてストロボ撮影
常温(+20°C)		75本	40本	15本
低温(-10°C)		45本	25本	10本
休止条件	フィルム1本撮影完了ごとにバッテリーチェック。その後小休止 休止時間：常温20秒間 低温3分間			

(注意)・撮影本数にはフィルムなしで空撮りしたときの回数も含まれます。

- ・USM使用レンズの場合は上記数値の約1/2となります。
- ・EOS850は「ストロボ撮影なし」に該当。

主要性能

型式	：ワインダー内蔵35mmフォーカルプレーンシャッターAF/AE一眼レフカメラ		露出適正・ストロボ充完時；点灯
	750；ストロボ内蔵		手ブレ警告；2Hz点滅
画面サイズ	：24mm×36mm		連動範囲外警告；8Hz点滅
使用レンズ	：EFレンズ群		ストロボ未充完時；消灯
レンズマウント	：キャノンEFマウント（完全電子制御方式）		ストロボ連動範囲外警告；8Hz点滅（420EZ，300EZ使用時のみ）
ファインダー	：ペンタプリズム使用のアイレベル式		測光方式
視野率	：上下左右とも92%		：受光素子に6分割SPC使用の TTL開放測光（絞り込み測光は不可）
倍率	：0.8倍（50mmレンズ付き無限遠）		露出制御方式
標準視度	：-1ジオプター		：①インテリジェントプログラムAE
フォーカシング	：オートフォーカスフレーム付き全面		②深度優先AE（デプス撮影）
スクリーン	：ニューレザーマットスクリーン		③TTLプログラムストロボAE（内蔵ストロボおよび160Eストロボ時）
ファインダー情報	：ファインダー下部に点灯表示		・逆光検知自動発光
	①●…オートフォーカス表示		・低輝度自動発光
	合焦時	：点灯	④A-TTLプログラムストロボAE（420EZ，300EZ使用時）
	合焦不能時	：8Hz点滅	手ブレ警告
	DEPTH時：合焦1回目；不規則点滅		：ファインダー内Pマーク2Hz点滅。内蔵ストロボおよび専用ストロボ使用時は警告なし。
	合焦2回目；不規則点滅		測光範囲
	被写体が深度内に収まらないとき	：4Hz点滅	：EV0～20（50mmF1.4レンズ，ISO100に換算）
	②P…露出確認表示		使用フィルム感度：ISO25～3200（1段ステップ）で自動セット



① AFフレーム

撮りたいものをこの枠の中に入れます。この枠の中にあるものにピントが合います

② Pマーク

露出が適正かどうかを表示します。シャッターボタンを半押ししたときに表示されます

③ ●マーク (緑マーク)

ピントが合ったかどうかを表示します

各部名称



* ⑫ストロボスイッチ

ストロボのON/OFFスイッチです。
普通は **⚡ AUTO** にして撮影します。必要
なときに自動発光します。

⑬裏蓋開放レバー

押し下げると、裏蓋が開きます

⑭裏蓋ロック解除ボタン

裏蓋が不用意に開かないようにします

⑮フィルム確認窓

フィルムが入っているかどうかを確認で
きます

⑯アクセサリシュー

別売の専用ストロボを取り付けるときに
使います

⑰ファインダー接眼部

別売の視度補正レンズを取り付けると、
メガネなしで写真が撮れます

⑱フィルム枚数計

フィルムの残りの枚数が表示されます。

* ⑲クォーツデート表示窓

写真に写し込む日付や時間を表示します

* ⑳SETボタン

修正する日付や時間をセットします

* ㉑SELECTボタン

修正する日付や時間を選びます

* ㉒MODEボタン

写し込む日付や時間を選びますまた、
写し込まないこともできます

※印：750/750QDだけの機構

★印：750QDだけの機構

	NON-DXコードフィルムはISO25にセット	充電時間	: 約2秒
A F制御方式	: TTL-SIR方式(2次結像位相差検出方式)合焦時、ファインダー内●マーク点灯、および電子音で告知。合焦音のOFF不可。合焦不能時、●マーク8Hz点滅。	閃光時間	: 1ms以下
A Fモード	: ①ワンショットAFシャッターボタン1段目ONによりAF作動。測距完了にて停止。測距完了後リリース可能。 ②マニュアルフォーカスマードスイッチをMにし、手動フォーカスリングを回すことにより可能。	照射範囲	: 焦点距離35mmのレンズをカバー
A F測距輝度範囲	: EV+1~18(ISO100)	発光条件	: ①逆光検知自動発光 ②低輝度自動発光
A F補助光	: 750/750QDは、AF補助光内蔵(ストロボAUTO時に機能する)、850は、専用キヤノンスピードライト使用時。いずれも必要に応じて自動投光。	同調シャッタースピード	: 1/60~1/125秒
シャッター	: 縦走りフォーカスプレーン式全速電子制御シャッター	調光方式	: フィルム面反射測光によるTTL自動調光制御
シャッター速度	: 1/2000~2秒 X接点は1/125秒	調光連動範囲	: 1m~4.3m(ISO100)
セルフタイマー	: 電子制御式(時限約10秒) 電子音による作動表示(スタートから8秒間2Hz、残り8Hz)	充電完了表示	: Pマーク点灯。未充電時Pマーク消灯およびリリースロック
フィルム給送	: プリワインド方式。	ストロボ用電源	: ボディ本体の電源と共用
フィルム装てん	: 自動。フィルムをセット後裏蓋を閉じると全フィルムを自動給送し停止。(24EXフィルムで約14秒) 失敗時リリースロックと電子音8Hzで警告。	フラッシュ接続点	: アクセサリーシュー部に直結接点あり。
巻き上げ方式	: 小型モーターによる連続自動巻き上げ。(ただし、デプス撮影時は1枚撮影)	フラッシュオート	: ①内蔵ストロボまたは160E使用時カメラ本体のTTLプログラムにより、調光絞り値を自動セット。 フィルム面反射測光によるTTL自動調光制御。自動日中シンクロ可能。 ②420EZ、300EZをA-TTLモードで使用したときフラッシュ側の近赤外光とカメラ本体のA-TTLプログラムにより、撮影距離、被写体条件に応じて最適な調光絞り値を自動セット。 フィルム面反射測光によるTTL自動調光制御。自動日中シンクロ可能。
内蔵ストロボ(750/750QD)	: ペンタ部内蔵リトラクタブル式TTL自動調光ストロボ。並列制御式。	電源	: リチウム電池パック(2CR5、6V)1個
ガイドナンバー	: 12(ISO100・m)。	バッテリー	: メインダイヤルスイッチの切り換えにより電子音で表示。
		チェック	: チェックにより電子音で表示。
		大きさ/重量(ボディのみ)	
		750	: 149.3(W)×102.2(H)×69.5(D)mm/620gr
		750QD	: 149.3(W)×102.2(H)×71.0(D)mm/630gr
		850	: 149.3(W)×97.2(H)×69.5(D)mm/560gr
		都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。 (データはすべて当社試験条件によります)	

アフターサービス

- 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛りはお客様にてご負担願います。
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために不可欠な部品)は、日本国内において、10年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス期間にお問い合わせください。
- 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社 キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28
カメラ相談室 (03) 455-9353

◎サービスステーション・営業所

札幌	〒060 札幌市中央区北三条西4-1 (第一生命ビル)	☎(011)	231-1353
仙台	〒980 仙台市一番町1-1-30 (やまと生命仙台ビル)	☎(022)	266-4151
新潟	〒950 新潟市東大通り1-4-1 (マルタケビル)	☎(0252)	43-2111
銀座	〒104 東京都中央区銀座5-9-9	☎(03)	573-7834
新宿	〒163 東京都新宿区西新宿2-6-1 (住友三角ビル地下1階)	☎(03)	348-4725
横浜	〒221 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4 (安田生命横浜西口ビル)	☎(045)	312-0211
大宮	〒330 大宮市大成町2-273	☎(0486)	66-3930
静岡	〒420 静岡市常磐町2-13-1 (住友生命静岡常磐町ビル)	☎(0542)	55-2241
名古屋	〒450 名古屋市中村区名駅3-21-7 (三交ビル)	☎(052)	563-6822
梅田	〒530 大阪市北区中崎西2-4-12 (梅田センタービル)	☎(06)	373-8181
京都	〒604 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町435 (京都御池第一生命ビル)	☎(075)	241-0216
金沢	〒920 金沢市玉鉾2-266	☎(0762)	91-1215
高松	〒760 高松市紺屋町9-6 (高松大同生命ビル)	☎(0878)	22-3666
広島	〒730 広島市中区小町2-30 (第二有楽ビル)	☎(082)	245-7791
福岡	〒812 福岡市博多区美野島1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル)	☎(092)	411-4173
沖縄	〒902 那覇市安里102 (日本生命安里ビル)	☎(0988)	67-2106

◎営業所

千葉	〒280 千葉市末広2-13-2	☎(0472)	61-5121
大分	〒870 大分市城崎町1-3-31 (富士火災大分ビル)	☎(0975)	37-4117

◎サービスセンター

東京	〒108 東京都港区港南2-13-29	☎(03)	450-2731
大阪	〒540 大阪市東区森の宮2-5-3	☎(06)	941-1076

◎休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日・祝日)その他(土・日曜日・祝日)

J